

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん!

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253



SSN48は白石の農産物を応援しています!



「馬牛沼産直センター」、「小十郎の郷」、「羽山朝採り市」で「白石産米」を取り扱い中! 詳しくは各直売所に問い合わせをください!

●1月の人気農産物

セリ、干し柿、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、ホウレンソウ など



青葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を好評開催中! 月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。 ※今月はポーチパーク(水曜日)のみ営業します。

- ①ポーチパーク内 1月18日(水)から営業 毎週水曜日9:00～12:00
- ②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 2月15日(水)から営業
- ③いきいきプラザ 4月15日(土)から営業 ※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。 ☎佐藤 ☎25-8860

クラブいち パーバ工愛市

- ①白石店(城北町・あそびの森近く) 1月18日(水)から営業(パーバ工愛市のオレンジ色の旗が目印です!) 毎週水曜日9:30～12:00(営業時間変更は2月末まで) 営業初日は初売りプレゼントを用意しています!
- ②JAみやぎ仙南福岡支店構内店 3月から営業再開 ☎JAみやぎ仙南女性部白石地区パーバ工愛市 ☎25-3531

小原いきいき直売所 3月まで冬季休業

平成29年4月から営業を再開します。 ☎高橋 ☎29-2269

軽トラ市 1月6日(金)から営業

毎週金曜日9:00～12:00 ●場所 すま i りのひろば ☎四竈 ☎29-2451

小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

1月5日(木)から営業

1月5日(木)の12:00から、初売り企画恒例の「小十郎の郷・新年もちつき大会」を開催します(なくなり次第終了)。 ※12月31日(土)から1月4日(水)まではお休みします。

●場所 JAみやぎ仙南白石地区営農センター構内(福岡長袋字八斗蒔)

☎小十郎の郷 ☎22-0881 <http://www.kojuro-sato.com>



羽山朝採り市 1月21日(土)から営業

毎週土曜日9:00～12:00

今年もお客さまのご要望に応じ一生懸命おいしい野菜を作りお届けします。皆さんで来てくれない!! 温かい甘酒を振る舞いますよ～!

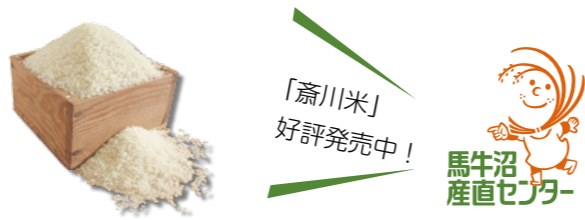
●場所 犬卒都婆公会堂前 ☎佐藤 ☎27-2115

馬牛沼産直センター 1月5日(木)から営業

毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00

斎川の特産「斎川凍豆腐」やころ柿のほか、毎年好評の手作り切り餅などを販売しています。1月5日(木)の初売りでは、恒例のお買い上げ抽選会を開催しますので、皆さんぜひお越しください。

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近 ☎馬牛沼産直センター ☎25-0520



「斎川米」好評発売中!



※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。 ※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

評 一首目、物寂しい夕景に、「手入れとどかず」と老いの思いを重ねられた。繊細な表現が印象的。 二首目、一句二句はお孫さんか。三句目は作者なのだろう。微笑ましい会話だ。 三首目、結句に反省の気もちがある。とにかく形に残された。記録となる。

評 一首目、秋に北方から渡ってくる雁や鴨や白鳥が湖沼に越冬する。中でも伊豆沼は有名で観光客やカメラマンで賑わっている。伊豆沼の空を渡る鳥の大群が重なると、まるで飛翔している。大景を捉えてお見事。 二首目、庭の松手入れを毎年頼んでいる庭師がいる。仕事の手順に無駄がなく、音もリズムカルで、名人と思っている。十時と三時の休憩の時は老人に似合わずお茶よりもコーヒーマグの私のお出でを、目を細めて美味しそうに飲んでくれる。 三首目、いつも散歩の途中で仰ぎ見ている大きな観音像がある。やさしそうに微笑んでいて心が癒やされる。今日仰ぎ見る観音様はどこか秋の物思いにふけっているよう。目を閉じて——がなんとも可愛い。

評 一句目、当節は何かと金がかかる。冠婚葬祭、出産、見舞い。年金日には孫が来る。愚痴は言うまいこぼすまい。これが男の生きる道。 二句目、今年は天候不順で秋・冬の野菜が高い。寄せ鍋、すき焼き、おひたしなど量が減る。自然の脅威と人間の無力さを痛感。 三句目、スーパーのタイムサービスや閉店間際の値下げを待っている客も多い。出費多額の折から、消費者のささやかな抵抗か。

市民文芸

和田 游稀 末吉アツ子 大庭美智子

俳壇

山家 弘子 選

高子うぶん 藤多伊都子 佐藤 孝子 服部 忠孝 星 啓子 佐藤 文雄

柳壇

四電 英夫 選

評 義理の世はあちらこちらと金が要り 寄せ鍋に野菜足らぬと子がこぼし スーパーの朝夕の市見逃さず 高齡の未知なる坂に出会う日々 世渡りが下手でお世辞も言えず古い 運動会打ち上げ花火待ちわびる 落ち葉掃く善行感謝の並木道 再検査結果待つ間の鬱の日々 可愛さも倍に双子の曾孫来る 初出社孫の笑顔の爽やかさ

草野 真造 門脇 貞子 末吉アツ子 佐藤 啓子 高子うぶん 星 啓子 阿部はぎの 大庭美智子 遠藤 舞 小室 蓉子

東北財務局と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結!



1_協定書の締結式で固い握手を交わす山田市長と中田悟東北財務局長(右) 2_金融機関など関係機関が参加した地域活性化フォーラム 3_有限会社イーストファームみやぎ(美里町)の赤坂芳則代表から取り組み状況や課題などが説明

12月1日、本市と東北財務局は、地域の活性化と市民生活の向上に向け、幅広い分野で協同で取り組みを実施するため「地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。これは、地域経済の持続的な発展に向けて相互に連携することで地域活性化や地方創生など地域価値の向上を図ることを目的とするもの。

具体的には、①地域経済活性化フォーラムや金融フォーラムの開催、②大規模災害時の人的支援、③金融犯罪防止の注意喚起や金融経済教育に関する出前講座の実施、④市主催イベントへの参画などで連携していきます。

協定締結後には「地域経済活性化フォーラム」を開催し、県内の金融機関や農業生産法人、広告業社など14団体から約30人が参加。各機関から地方創生に関する取組状況が紹介されました。また、意見交換では、現在、本市が取り組んでいる事業で課題となっている6次産業化や農作物のブランド化に向けた支援、移住定住に関する課題、農業の担い手育成などについて各機関から知見を聞かせていただきました。今後は、ワーキンググループを設置し、どのような点が課題となっているのか次回のフォーラムまでに精査することとしました。